

田

主

たぬし
まこと

誠

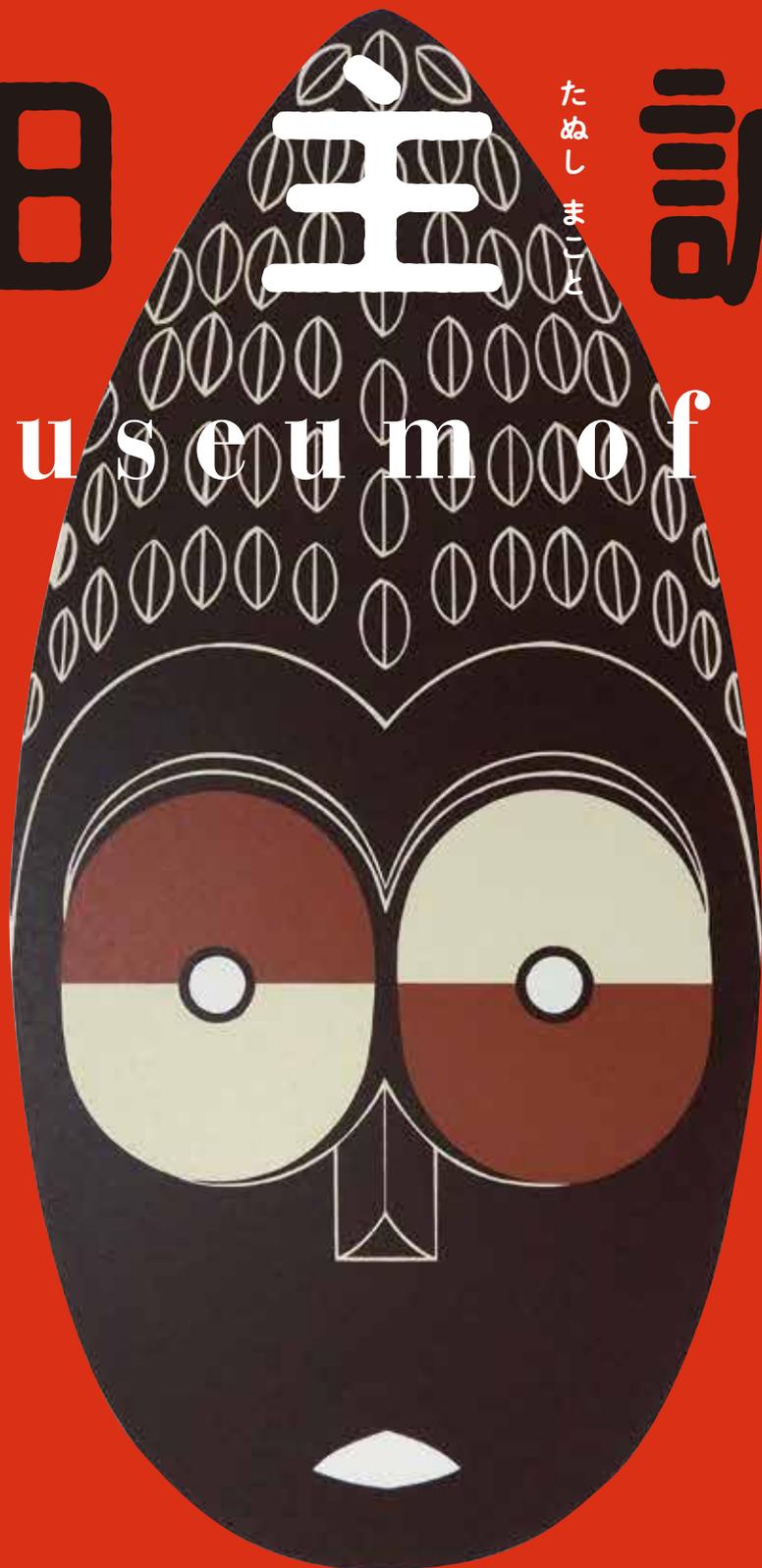
版
画
展



Museum of Dreams

ミュージアム・オブ・ドリームス

みんぱくと歩んだ版画家の創作世界



ある夏の日にはくぶつかんでみたのは可愛い人形がいる馬車のおうち

ある夏の日にはくぶつかんできいたのはチンドラチンドラふしぎな音

ある夏の日にはくぶつかんでみたのは川でのってみたい丸木舟



ある夏の日にみんぱくでおもったのは世界のひとびとのたくさんのやさしさ

みんぱくは たくさんのやさしさと ほほえみ
ミュージアム・オブ・ドリームス

(田主誠「ある夏の日に」より)

2023年 9月7日[木]～11月28日[火]

【第1期】9月7日[木]～10月3日[火] 民話の世界／民族博物誌／民博百景 など

【第2期】10月5日[木]～31日[火] 心をひろう旅／いい日本みつけた／会社じんるい学 など

【第3期】11月2日[木]～28日[火] 心の旅 西国三十三所／山頭火の風景／三角形に魅せられて など

【通期】仮面の世界／装丁・装画の仕事 など

10:00～17:00(入館は16:30まで)水曜日休館 観覧無料

期間中、ミュージアムショップで関連作品、書籍、グッズ等販売いたします。
本館展示、特別展は別途観覧料が必要です。

会場：国立民族学博物館 本館1階エントランスホール

主催：公益財団法人 千里文化財団

協力：国立民族学博物館、編集工房is 後援：茨木市、舞鶴市、NHK大阪放送局、京都新聞、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社



田主 誠 (撮影：麻生祥代)

田主誠

たぬしまこと

版画展

Museum of Dreams

ミュージアム・オブ・ドリームス

みんぱくと歩んだ版画家の創作世界

今春、亡くなった版画家・田主誠(1942-2023)は、国立民族学博物館(みんぱく)の開館当初から広報誌『月刊みんぱく』や研究連絡誌『民博通信』の挿画をはじめ、みんぱくの研究者とコラボレーションする形で新聞や雑誌の仕事を数多く手掛けました。一方で、仮面や民具などみんぱくの収蔵品をモチーフにした作品や国内外の旅での心象風景、さらに文学や音楽、故郷・舞鶴に着想を得たものなど、独自の創作活動も抽象から具象まで膨大かつ多岐にわたります。そこには、みんぱくで出会った異文化への驚きや憧れ、旅先や日々の暮らしの中で触れあった人びとへの優しく温かいまなざし、ユーモアにあふれた人柄があふれています。来年みんぱくが創設50周年を迎えるにあたり、その最初期からみんぱくとともに歩み、みんぱくをこよなく愛し、みんぱくから広がった体験や交流を心と表現の糧とした版画家の創作世界の一端をお楽しみください。

【第1期】9月7日[木]～10月3日[火] **民話の世界／民族博物誌／民博百景 など**



お菓子のなる木 1982年



アオウミガメ 1994年



ある夏の日に 1985年

【第2期】10月5日[木]～31日[火] **心をひろう旅／いい日本みつけた／会社じんるい学 など**



手こぎでハロー 1996年



東大寺修二会 2015年



英国のアイアン・ブリッジ 2001年

【第3期】11月2日[木]～28日[火] **心の旅 西国三十三所／山頭火の風景／三角形に魅せられて など**



第5番葛井寺 2003年



掌の中の神秘 2002年



花が踊っている 2017年

【通期】 **仮面の世界／装丁・装画の仕事 など**



抱腹絶倒(梅棹忠夫先生) 2010年



略年譜

- 1942 舞鶴市生まれ。
- 1969— 現代日本美術展、シェル美術賞展、京展、日本版画展などで入選・受賞。
- 1977 第12回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展入選(旧ユーゴスラビア)。
- 1977-93 国立民族学博物館に奉職。世界の民族芸術の影響をうける。
- 1977-2002 国立民族学博物館研究連絡誌『民博通信』NO.1～NO.96挿画。
- 1978 第4回ノルウェイ国際版画ビエンナーレ展入選。
- 1980 第8回クラコウ国際版画ビエンナーレ展入選(ポーランド)。
- 1981-88 サンケイ新聞文化欄に「世界の民具」シリーズ他挿画連載。
- 1982-94 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』(民話の世界) 版画連載。
- 1983-2007 国際学術研究総括班「海外学術調査ニュースレター」装画。
- 1983 人間博物館リトルワールド「常設展アフリカの民話」版画制作。
- 1983-84 サンケイ新聞「おおさかの民家」版画連載。
- 1983— 梅棹忠夫を中心とした同人誌「千里眼」表紙装画。
- 1985-86 サンケイ新聞「浪速の魚の物語」版画連載。
- 1989-94 『梅棹忠夫著作集』全23巻(中央公論社)装画。
- 1991-93 京都新聞「きょうと文化考」に版画連載。
- 1994-2004 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』(民族博物誌) 版画連載。
- 1994-95 毎日新聞「おはなし博物館—世界の民話から」版画連載。
- 1994-96 産経新聞「田主誠のたのし旅」(版画と文)連載。
- 1995 鳥取わらべ館常設展示に「1960年代の日本のこども」版画制作。
- 1995 第37回ニューヨーク国際メディア・フェスティバル銀賞。
- 1995-96 読売新聞「こころの風景」版画連載。
- 1995-96 毎日小学生新聞「おはなし村」「おはなし島」版画連載。
- 1995-96 京都新聞「想季想人」版画連載。
- 1996-2000 ヒノキ新薬「asunaro」『世界のあちこちで集めてきたお話』版画連載。
- 1997-99 大阪新聞「たのしきなミュージアム」(版画と文)連載。
- 1997 産経新聞「こころをひろう旅」(版画と文)連載。
- 1999 産経新聞「川端少年の歩いた道」(版画と文)連載。
- 2001-18 産経新聞「いい日本みつけた」(版画と文)連載。
- 2001 大阪新聞「会社じんるい学」版画連載。
- 2001-03 毎日新聞「せかいのこども夢気球」版画連載。
- 2002-05 産経新聞「山頭火の風景」「木のある風景」「琵琶湖周遊」(版画と文)連載。
- 2003-04 NHK総合「4時です 上方倶楽部」(心の旅 西国三十三所)に出演、毎週木版画を発表。
- 2003-05 毎日新聞「舞鶴百景」版画連載。
- 2007-09 読売新聞「こころのページ」版画連載。
- 2009-17 月刊「大法輪」「西国観音霊場巡拝記」「山頭火の風景」(版画と文)連載。
- 2011 第6回エヴォラ国際版画ビエンナーレ展入選(ポルトガル)。
- 2012 第1回「田主誠の民族学博物館」展(大阪市・茶屋町画廊)。2016年まで毎年開催。
- 2013 第1回「田主誠心の旅版画展」展(舞鶴市・智恵蔵)。2017年まで毎年開催。
- 2015 茨木市立川端康成文学館開館30周年記念個展「川端康成の少年時代」。
- 2015 舞鶴市功労者表彰を受ける。
- 2022-23 司馬遼太郎記念館会誌「遼」『風のみち 日本の原風景』連載。

交通のご案内

大阪モノレール ▶ 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分

バス ▶ 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

乗用車 ▶ 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。
最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※本展のみをご覧の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、国立民族学博物館へ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※国立民族学博物館の本館展示または特別展をご覧いただく場合は、観覧券が必要です。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



お問い合わせ

公益財団法人
千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 3階
Tel: 06-6877-8893(土日を除く9:00-17:00)
Mail: info@senri-f.or.jp https://www.senri-f.or.jp/